

## IV 選定の結果

### 1 選定結果の概要

今回、宮城県レッドデータブック(2016)に掲載された種の数、植物が555種(維管束植物以外(蘚苔類)42種、維管束植物513種)、動物が412種(哺乳類19種、鳥類57種、爬虫類5種、両生類8種、汽水・淡水魚類28種、昆虫類214種、海岸地域の無脊椎動物類70種、淡水産貝類11種)の合計967種、植物群落は182群落(単一群落120群落、複合群落62群落)である。宮城県レッドリスト(2013)と比較すると、植物と動物の合計969種から2種の減となり、植物群落は変わらない。

また、絶滅のおそれのある種(絶滅危惧I類(CR+EN)及び絶滅危惧II類(VU)と植物群落の壊滅状態(4)と壊滅危惧(3)に選定された種)の総数は、10分類群合計で613種となり、宮城県レッドリスト(2013)の605種から8種、宮城県レッドデータブック(2001)の601種から12種の増加となった。分類ごとの詳細は以降の項目に記載されているが、本県の野生動植物が置かれている状況は、さらに厳しくなっているものと思われる。

なお、選定した種の一覧表は表4のとおりである。

表4 選定結果

区分	絶滅(EX)	野生絶滅(EW)	絶滅危惧I類(CR+EN)	絶滅危惧II類(VU)	準絶滅危惧(NT)	情報不足(DD)	絶滅のおそれのある地域個体群(LP)	要注目種	対象種数
植物			27	8	1	6			42
植物	蘚苔類								
植物	維管束植物	15	1	206	158	84	10	39	513
植物計	15	1	233	166	85	16		39	555
哺乳類	2		3	5	3	3	1	2	19
鳥類			7	15	16	2	1	16	57
爬虫類						5			5
両生類					5		2	1	8
汽水・淡水魚類			9	6	9	4			28
脊椎動物計	2		19	26	33	14	4	19	117
昆虫類	5		35	39	78	57			214
海岸地域の無脊椎動物類			4	16	21	23		6	70
淡水産貝類			3	2	2	4			11
無脊椎動物計	5		42	57	101	84		6	295
動物計	7		61	83	134	98	4	25	412
合計	22	1	294	249	219	114	4	64	967

区分	壊滅(D)	壊滅状態(4)	壊滅危惧(3)	破壊危惧(2)	要注意(1)	対象数	
植物群落							
植物群落	単一群落	3	15	23	41	38	120
植物群落	群落複合	3	14	18	15	12	62
合計	6	29	41	56	50	182	

### 2 選定結果の解説

選定されたそれぞれの種についての解説は、それぞれの分類ごとに以下の項目について記載し取りまとめた。

#### (1) 植物群落以外

原則として、①、②、③、⑦については必須記載項目とした。

なお、情報不足カテゴリーに該当する種については情報が少ないため、また、要注目種のカテゴリーに該当する種については県内で絶滅のおそれのある種ではなく、よく見られる種であるため、⑦を省略したものもある。また、記載事項の

ない項目については、項目自体を掲載していない。

- ① 動植物名：動植物の和名、学名(命名者名及び発表年は除く)、目名及び科名、植物は科名のみを掲載した。
- ② カテゴリー名：宮城県カテゴリー名及び環境省カテゴリー名を掲載した。
- ③ 選定理由：当該種のカテゴリーにおける選定理由を掲載した。
- ④ 分布の概要：全国的に見た分布や生息等、対象種の一般的な事項を掲載した。
- ⑤ 形態：形態について必要な場合は掲載した。
- ⑥ 近似種との区：近似な種との違いについて必要な場合は掲載した。
- ⑦ 県内の生息・生育状況：県内における最近の生息・生育の状況、生息・生育地の条件について掲載した。  
なお、盗掘・乱獲等のおそれがある場合は、その環境や自生地が特定できないように表記した種もある。
- ⑧ 生息・生育に対する脅威(減少の要因)：生息・生育環境への脅威となる事項又は減少の要因について掲載した。
- ⑨ 学術的価値：分類学・生態学的な意義又は価値等、特記すべき事項があれば掲載した。
- ⑩ 特記事項：自生地・対象種が何らかの規制(文化財・高山植物等の指定植物など)等により保護されている場合はその旨を、その他保護対策等の参考とすべき事項など特筆すべき事項がある場合は掲載した。
- ⑪ 文献等番号：文献等で生育・生息を確認した場合、又は文献情報を掲載する場合に、その番号を掲載した。  
文献リストは、各分類の概要の後ろにまとめて掲載した。
- ⑫ 執筆者：執筆者名を掲載した。
- ⑬ 写真：対象種の写真を可能な限り掲載し、併せて提供者名を掲載した。また、県外撮影写真、標本写真はその旨を掲載し、写真がないものはデッサン及び作画者名を掲載するか、又は未掲載とした。

## (2) 植物群落

- ① 単一・複合の別：単一群落・群落複合の別を掲載した。
- ② 植物群落名：単一群落の場合のみ、植物群落名を掲載した。
- ③ 群落の概要：単一群落の場合のみ、単一種の概要及び全国的に見た分布や生育等を掲載した。
- ④ 県内の分布：単一群落の場合のみ、県内の分布状況を掲載した。
- ⑤ 調査群落名：調査群落名を掲載した。
- ⑥ カテゴリー名：宮城県カテゴリー名を掲載した。
- ⑦ 群落の位置：群落の位置を掲載した。
- ⑧ 選定理由：カテゴリーにおける選定理由を掲載した。
- ⑨ 保護保全上の留意点：生育環境への脅威となる事項等、保護・保全上の留意点について掲載した。
- ⑩ 特記事項：自生地が何らかの規制(文化財・高山植物等の指定植物など)等により保護されている場合はその旨を掲載した。
- ⑪ 文献等番号：文献等で生育を確認した場合、又は文献情報を掲載する場合に、その番号を掲載した。文献リストは、概要の後ろにまとめて掲載している。
- ⑫ 執筆者：執筆者名を掲載した。
- ⑬ 写真：対象種の写真を可能な限り掲載し、併せて提供者名、撮影日を掲載した。写真がないものは未掲載とした。